

大正十年四月二十二日 第三號
昭和三年十二月十五日發行 每月一回 十五日發行



滿洲建築協會雜誌
第八卷第十二號
滿洲建築協會發行

スクラッチ・タイル

〔新製貼附煉瓦〕

ホロータイル

フェースブリック

機械製煉瓦

普通煉瓦

大連管内西山會春柳屯二番地

管口煉瓦製造所

電話九〇九七番

目次

□ 繪

□大連カトリック教會會堂

外 觀 內 部 平 面

□日本メソヂスト大連支教會會堂

外 觀 平 面

□大連聖公會聖堂

外 觀 內 部 平 面

故長谷川理事遺影及略歷

本 文

□左官工事に就いて (二).....福岡庄一郎.....(1)

□建築と庭園 (五).....岡大路.....(7)

□大連カトリック教會會堂新築工事概要.....(19)

□日本メソヂスト大連支教會會堂新築工事概要.....(19)

□大連聖公會聖堂新築工事概要.....(20)

□建築雜感 第四信.....松室重光.....(21)

□鐵嶺清真寺.....村田治郎.....(26)

(滿洲回教寺建築の研究 九)

會 報

□會員移動 □交換圖書

▲編輯私記.....以 志 多

□御大典奉祝特輯「住宅と設備」に就きましては、十一月の末まで編輯と校正と廣告交渉との混戦に大童の體でありましたが、五日午後急性腸炎で病床の人となり、二週間一切の計畫と事務とから絶縁せられてゐました。

□四十度近い熱に呻いてゐる時十月の初めから戀ひそめた「住宅と設備」を手にして、眼の底の熱くなるのを禁じ得ませんでした。

□右の様な次第で、新年號の手廻しどころか、十二月號さへ豫而の心算が外れて不行届な結果になつてしまひました。例年は十二月中に新年號の印刷までやつて仕舞つたのですが、今回の新年號は正中發行のことに致しましたから宜敷御諒知おき下さい。

□今年も亦一月から十二月まで、月刊としての使命を果すことの出來たのは嬉しいことに存じます。これは一に寄稿者各位の御努力と、此の事業を助けらるゝ意味で、毎月廣告料金として多額の費用を負擔せらるゝ方々の熱誠なる御援助に依るもので、一面に又、一般の雜誌印刷に比べて非常に面倒の多い仕事であるにも不拘、犠牲的の骨折に甘んぜらるゝ印刷所の厚意に俟つことの少なくないことを忘れ度くありません。

□内容の點に就いては、廣い様で其の實極めて狭い滿洲で、寄稿を要望する様な人も自ら範圍が限定されてゐますから、編輯資料の蒐集は岡目で見る様に容易なものではありません。

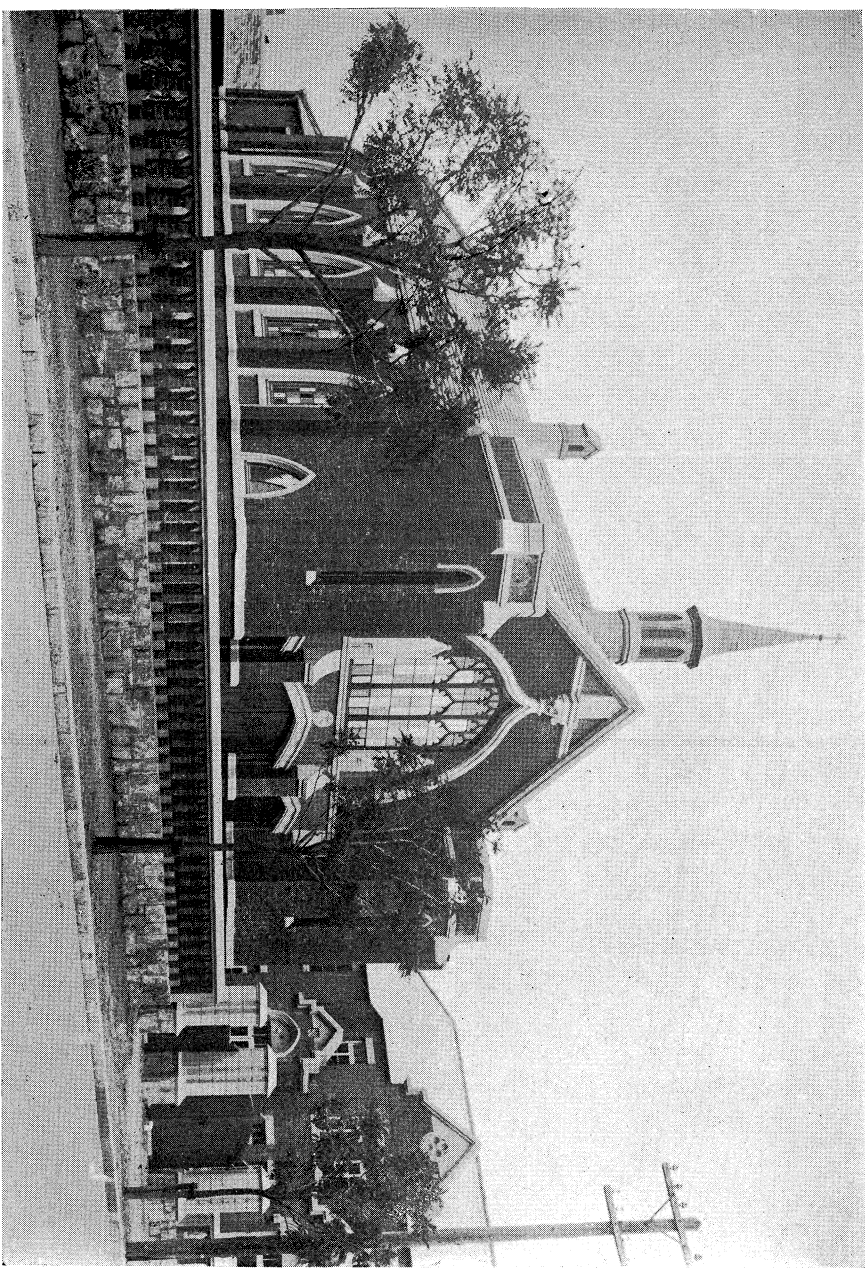
□「變化がない」「堅すぎる」「偏してゐる」かうした御氣付けは何れも御尤のことに存じますが、果の有るものは堅くもなり、長くもなりがちですから、今分の當協會の雜誌經營では、變化をもたせる爲めに題種を多くすることは頁數制限の點から六ヶ敷いことでもあり、一頁や二頁の、その時限りや見掛倒しの原稿を數多く掲げるのも感心したものではありません。

□もう一度正月號から見直して、個人々々の要求と期待にどれだけそつてゐるかは何とも言へませんが、建築協會雜誌としては、そんなに卑下したものではありません。

□「大連醫院號」が段々延び／＼になつて來ましたが、準備は次第に進められてゐますから、來春二三月頃ものにしたと願つてゐます。

□皆々様方の御多幸なる御越年を御祈申上ます。

昭和三年十二月二十一日



大連カトリック教會堂外觀

設計 岡名越 大務 路
施工 岡名越 大務 路